

しょうけん
⑳ 松見寺の大杉

(関市天然記念物 広見)

広見地区の北側に位置する松見寺の境内にあります。幹回りは約 6.3 m もあり、周りの木々より一段と大きく見えます。

松見寺は、尼寺五山の第一と称される京都洛北景愛寺の末寺で、その景愛寺開祖である如大尼和尚じょうだいにが建治 2 年 (1297 年) から 1 年間修業したといわれています。この大杉は、如大尼和尚が植えたものと伝わっています。

【アクセス】 関市自主運行バス関板取線「広見北山」下車、東へ徒歩約 15 分
東海環状自動車道・関広見 IC から北へ、車で約 10 分



関の文化財探訪

その 16

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎46-2313

⑳ 檜の木

(関市天然記念物 上之保行合ゆきあい)

上之保行合地区にある本郷峠の三十三観音の近くある大木です。幹回りは 3.3 m あり、推定樹齢 250 年といわれる古木です。

檜はブナ科コナラ属の常緑樹で中部地方以南に多く見られ、晩春から初夏にかけて花を咲かせます。

【アクセス】 上之保地域バス「行合」下車、東へ徒歩約 20 分
東海環状自動車道・富加関 IC から主要地方道関金山線を北へ車で約 40 分

